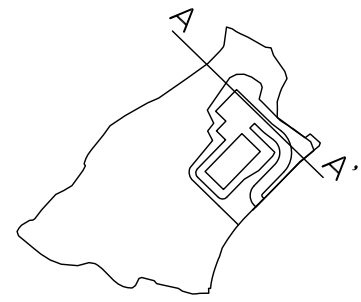


配置図

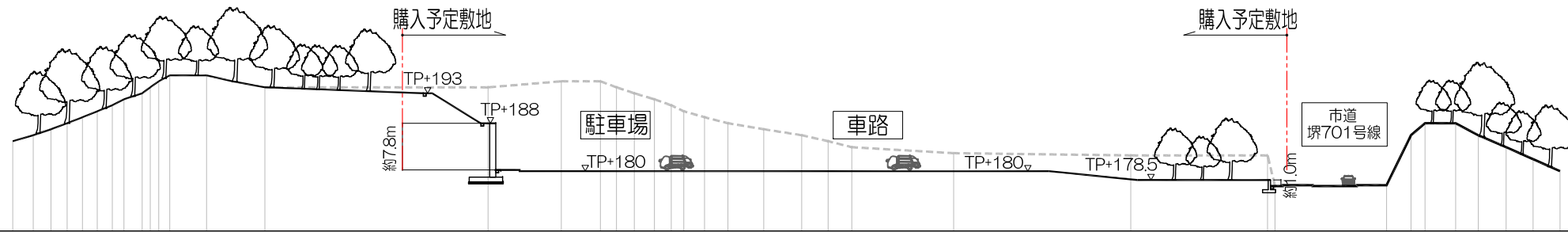
1/1000

-

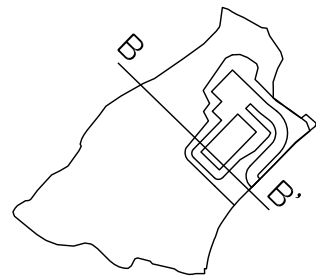
**



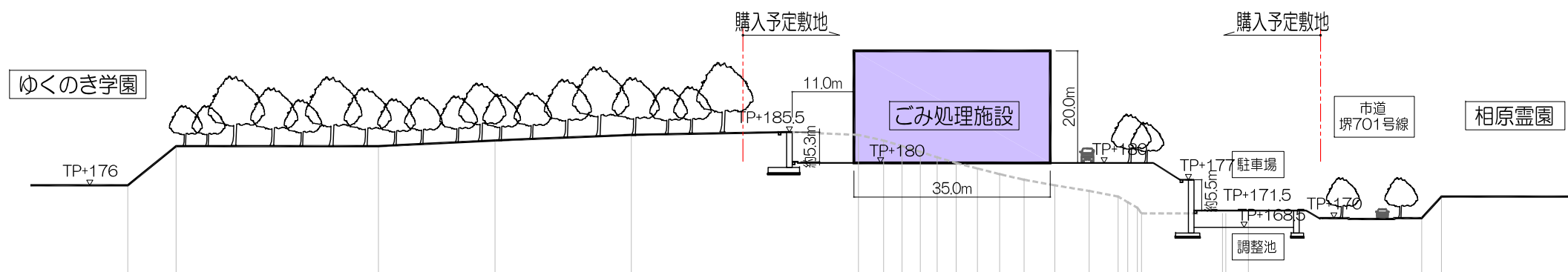
DL=TP+170m



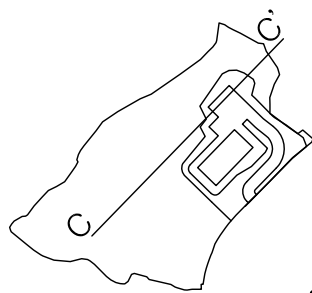
A-A' 断面図



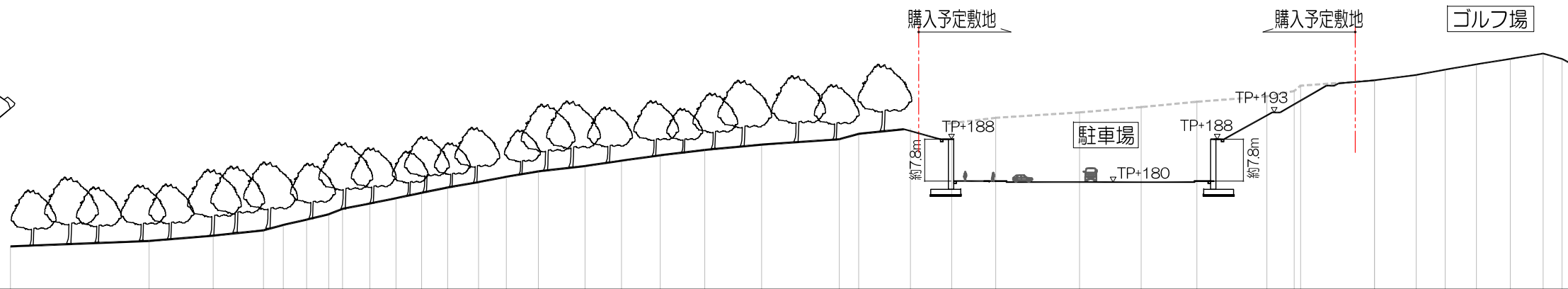
DL=TP+160m



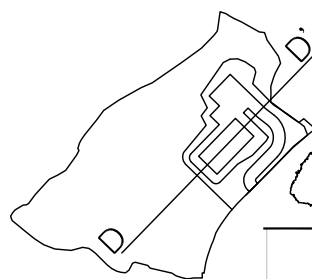
B-B' 断面図



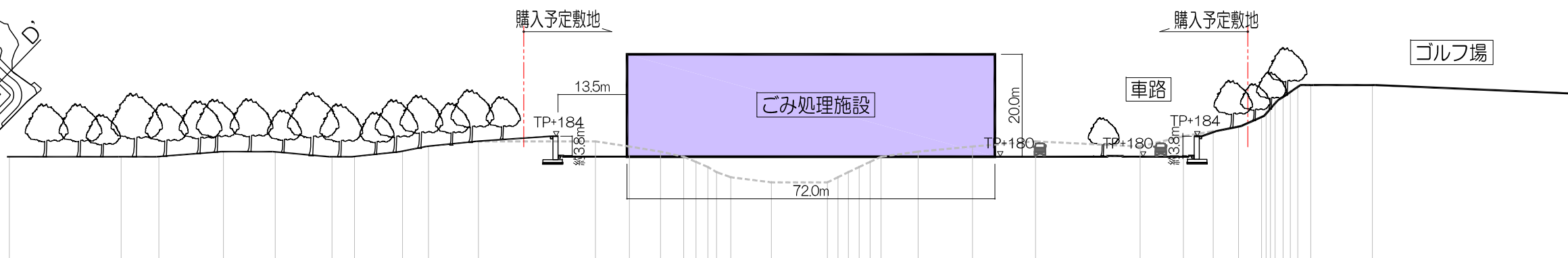
DL=TP+160m



C-C' 断面図



DL=TP+160m



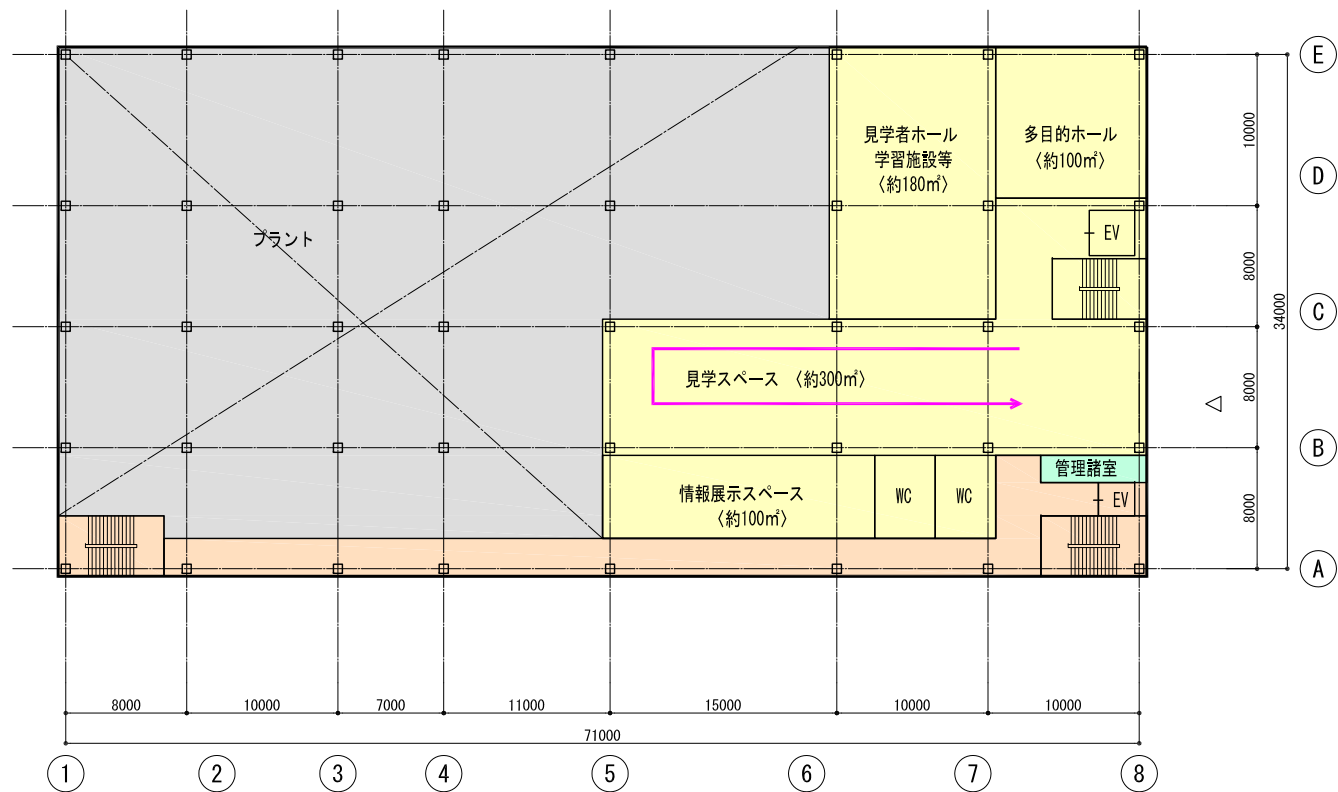
D-D' 断面図

断面図

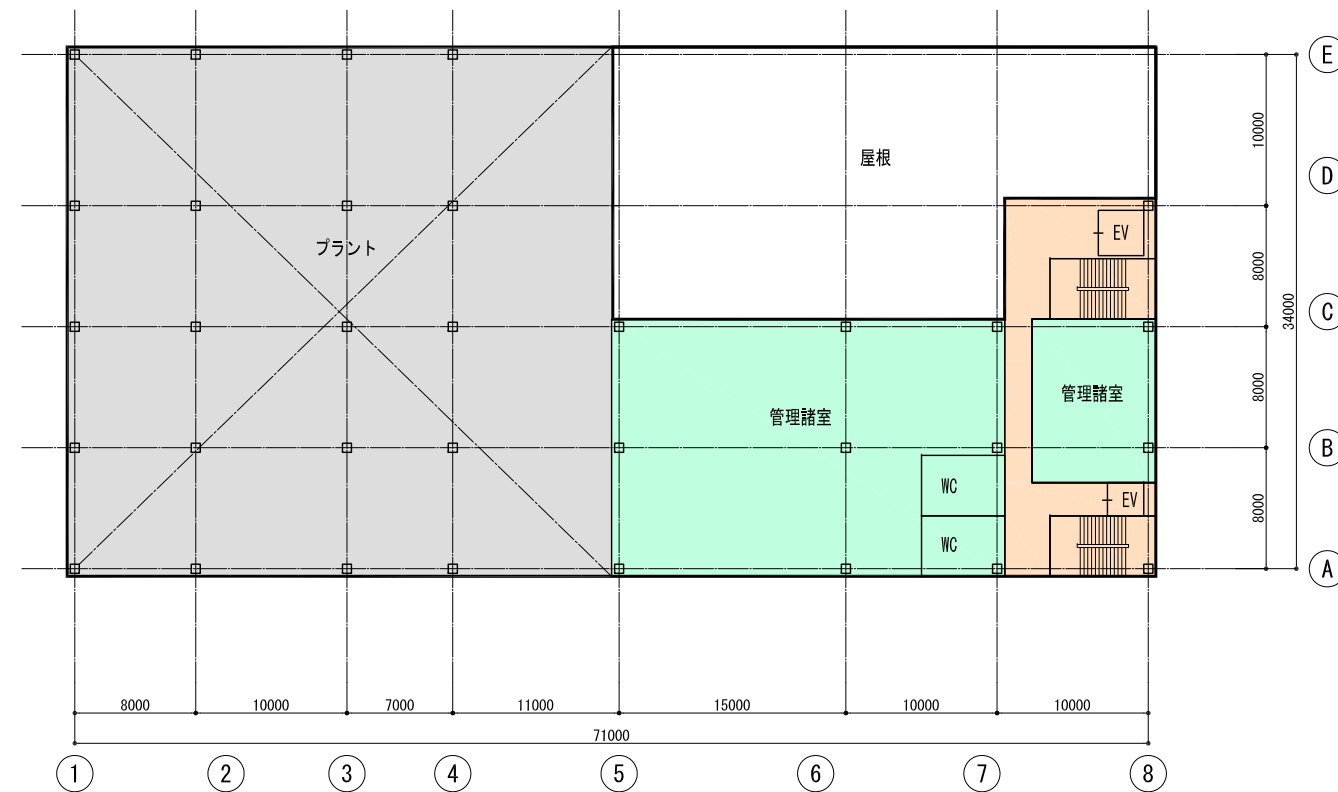
1/1000

-

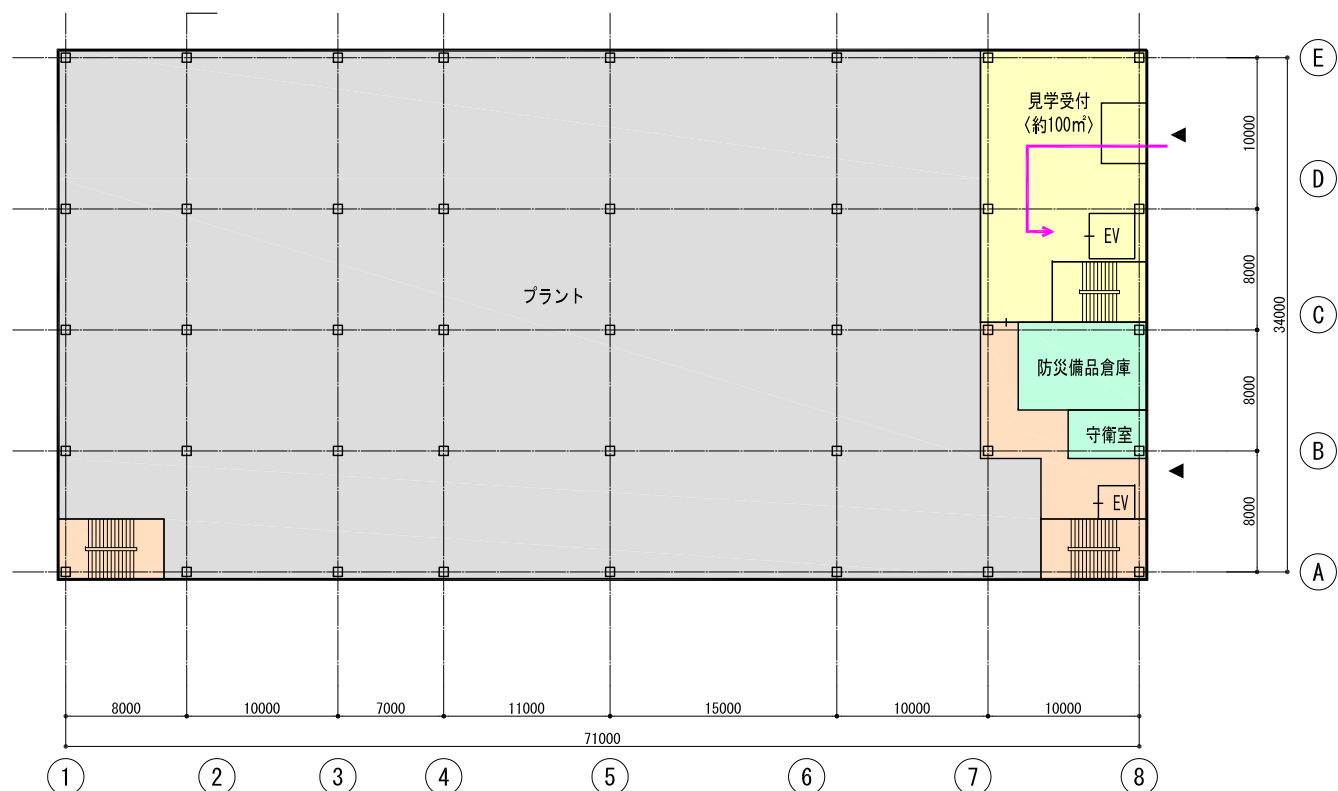
**



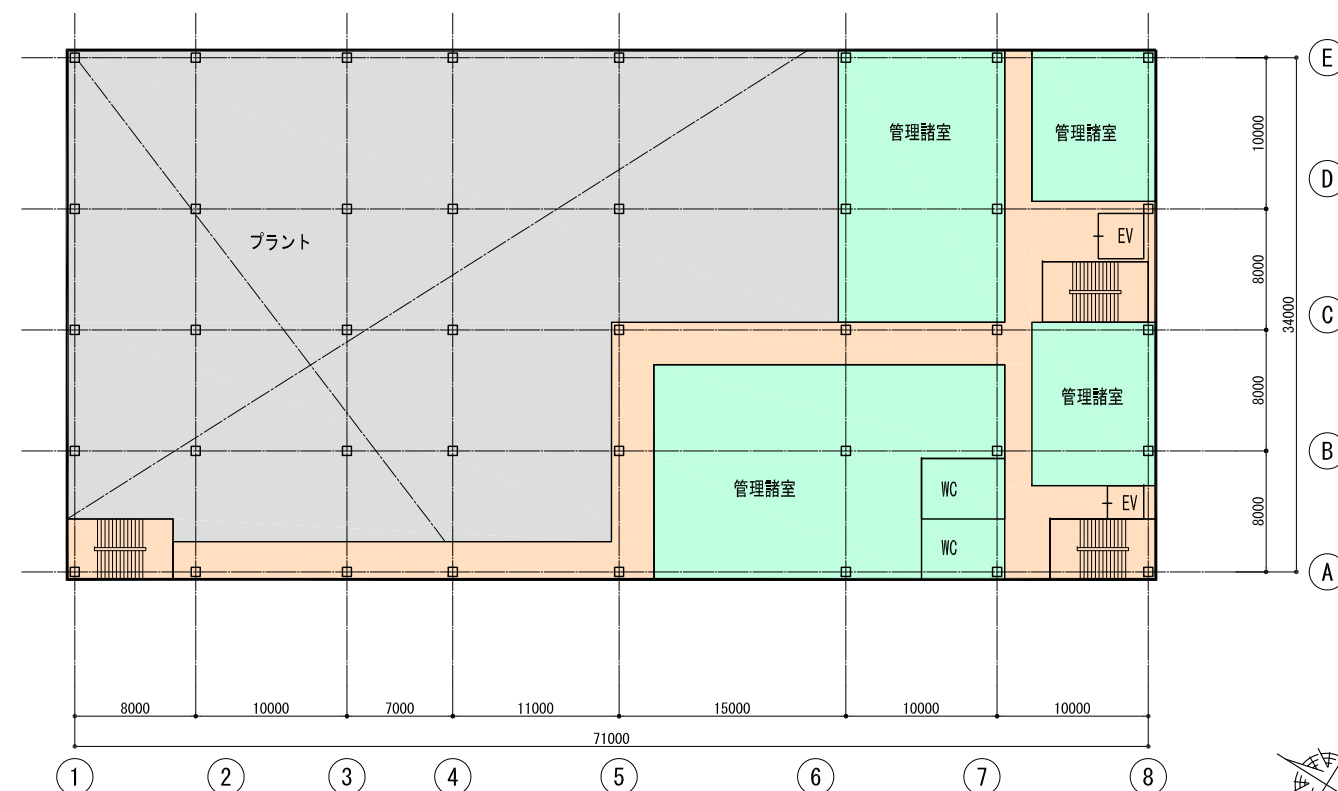
2F



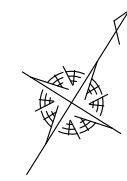
4F



1F



3F



相原地区資源化施設 諸室一覧

室（スペース）名	採用の有無	面積	利用人数の目安	設計指針*1	アクションプラン 対応項目
1 エントランスホール（見学者）		約100㎡	—	・風除室を設ける。	—
2 職員通用口	●	—	—	・表玄関とは別に設け、傘立てを設置する。	—
3 警備室	●	約15㎡	約2人	・職員通用口に向けた位置に設ける	—
4 事務室	●	約50㎡ ×2	検討中	・運営者（外部委託含む）と市、各々設置する。 ・左記人員の継続的執務に必要な面積を有し、来客から分かりやすい位置に受付カウンターを設ける。 ・書類キャビネット等のスペースを考慮する。 ・事務スペースはOAフロアとする。	—
5 センター長室	●	約30㎡	—	・応接室に近接した位置に設ける。	—
6 応接室	●	約30㎡ ×2	—	・運営者（外部委託含む）と市、各々設置する。 ・事務室に近接し、来客が入りやすい位置に設ける。	—
7 会議室	●	約60～80㎡	—	・運営者（外部委託含む）と市で共用前提とする。 ・事務室に近接した位置とする。	—
8 書庫	●	約15㎡ ×2	—	・運営者（外部委託含む）と市、各々設置する。 ・事務室に近接した位置とする。	—
9 物品倉庫	●	約15㎡ ×2	—	・運営者（外部委託含む）と市、各々設置する。 ・事務室に近接した位置とする。	—
10 更衣室	●	約100㎡	運営側 約50人	・運営者側のみ設置する。 ・男女別とし、個人用ロッカーを設ける。 ・男女比は5：1	—
11 休憩室	●	約150㎡	—	・運営者側のみ設置する。 ・市側は事務室に兼ねる ・障がい者用控室は個別に設ける ・自動販売機設置用のコンセントを設ける。	—
12 シャワー室	●	約00㎡	10台分	・作業員が利用するシャワー室を設ける ・各更衣室内に設ける ・男女比は7：3 ・災害時に住民が使用することを前提とする	—
13 洗濯室	●	約20㎡	5台分	・洗濯機5台程度設置	—
14 湯沸室（職員用）	●	各約5㎡ (2・3階)	—	・見学者ホールと近接した位置へ設ける。 ・応接室、事務室と近接した位置へ設ける。 ・IHを設置する。	—
15 トイレ	●	各階 約50㎡ (2～4階)	—	・男女別とし、見学者ホール及びエレベーターホールと近接した位置へ設ける。 ・多目的トイレ（みんなのトイレ）を設ける。	—
16 見学者ホール	●	約180㎡	約80～120人 (小学生3クラス分程度)	・階段・エレベーター及び見学者スペース、情報展示スペースへ近い位置とする。 ・見学者説明用の音響・映像設備（パソコン対応タイプ）を設ける。 ・室の遮音性能には十分に配慮し、十分な遮音性能を確保する。	4-1 5-1 5-2
17 見学者スペース	●	—	—	・廊下との兼用を前提とする。	4-1
18 情報展示スペース	●	約70㎡	(バイオセンターの管理棟PRコーナー、工場機すごらほ程度)	・見学者スペースに向けた位置へ設ける。 (コーナーとして設ける) ・廊下と兼用してもよい。 ・施設模型を展示する。 ・環境学習用の展示物に必要な設備（照明、コンセント、スピーカー等）を設ける。	—
19 多目的ホール	●	約100㎡	—	・原則として外部に向けた位置とする。 ・災害時の周辺住民の一時避難スペースも兼ねる。	5-1 5-2
20 防災備蓄倉庫*2	●	約50㎡	—	・計画中の建屋1階に整備し、物資の搬入出しがしやすい位置へ計画する。また外扉を設ける。 ・非常用コンセントを設ける。 ・収納棚（別途工事）を設置するスペースを設け、備品を保管できるように計画する。	1-2
子どもセンター	×	約00㎡	—	当敷地内での整備は不可能*3	5-3
郷土館	×	約00㎡	—	施設内での整備は不可能*3	6-1 6-2

屋外の機能	採用の有無	面積	利用人数の目安	設計指針	アクションプラン 対応項目
21 駐車場			—	・45台以上（資源回収車2t×25台 普通車20台） ※公園利用分も含む	—
22 屋外トイレ			—	・公園利用者も利用する ※公園にはトイレは設けない	—
23 大戸広場へのアプローチ			—		—

□ アクションプランに基づき、設置を検討する付帯機能

*1 今後の進捗によっては変更になる可能性があります。

*2 アクションプランの1-2では記載はされていませんが、避難場所の機能から必要と考え追加しました。
一方、防災センターの具体的な機能が想定できませんでしたので、防災備蓄倉庫に追いかけて考えております。

*3 当建物を建設する為には、当該敷地を都市施設（その他の処理施設）の都市計画決定を実施する必要があります。
都市施設として都市計画決定した範囲には、都市施設の用途しか建設することができません。（別資料参照）